

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 4月 19日

事業所名 プロスペール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		必要な備品だけを置くようにして、なるべく子供たちの間のスペースを空けるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		現時点では、適切に配置を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	仕切りはほとんどない。	スタッフ、子供たち共に、整理整頓をしています。また、年齢に応じた環境整備を定期的に話し合いをもって行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	次亜塩素酸での消毒を行っている	スタッフのできることで、子供たちができる整理整頓や衛生への取り組みを行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	25%	75%		ミーティングでの振り返りを毎日行っています。月ごとの活動の見直し評価を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	25%	75%		毎年の評価表での評価をお願いしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25%	75%		毎年の評価表を集計して、ホームページでの公開をしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%		第三者への外部評価は現在行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	業務により、なかなかより多く外部への参加ができない	県社協の研修への参加を中心にしています。事業所内研修を行っています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	50%	50%	子供に対してはなかなか理解を得られず保護者が代理になっている	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25%	75%	標準化されたアセスメントのきほんがわからない	事業所のアセスメントシートでの評価を行っております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	25%	75%		お子様の課題やご家族の課題、通われる保育園等の課題をご家族や関係者との連携により、支援の必要な項目を選択し、具体的に個別での支援をするよう取り組んでおります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		行われています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	専門性のあるスタッフが少ないため、意見がでにくい	活動プログラムは、月の課題活動に基づき担当者の立案をもとにチームで取り組んでおります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		活動プログラムは、月の課題活動に基づき担当者の立案をもとにチームで取り組んでおります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	25%	75%		日常生活の自立活動を促しつつ、小グループでの活動の中でそれぞれの課題をもとに取り組んでおります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		ミーティングで、当日の活動内容を共有しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25%	75%		ミーティングで、前日の活動内容の振り返りを共有しております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録をしているが、検証に至らない。	活動計画の評価として記録しています。
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	25%	75%	保護者との面談を2~3か月に1回行っている。	職員間でのモニタリングの実施をしております。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		経験のあるものが参画しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%		お子さんやご家族を含めて、必要性のある場合は支援をしていく用意はあります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	25%	75%	リハビリの必要な子供に対して、専門機関との連携を図っている。	身体的なケアの必要なお子様は、ご家族のご希望に沿って、連携をしております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		現在は、対象のお子様はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		就学に向けてのお子様の課題や取り組みについては、ご家族のご希望に沿って関係者等との連携を行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		就学に向けてのお子様の課題や取り組みについては、ご家族のご希望に沿って関係者等との連携を行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%		現在は、対象のお子様はおりません。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75%	25%	事業所自体ではない	事業所として活動する予定は現在ありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	25%	75%		事業所として活動する予定は現在ありません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%		現在、ご家族への支援プログラムを実施してはおりません。ご希望をお聞きして判断したいと思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		利用開始時に、ご説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		ご家族への支援計画書の内容説明を行っております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	父母の会等はない	保護者会の開催は、社会の状況を考えながら 報告等を行いたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75%	25%		定期的に至らないため 改善をしていきたいと思っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		保管等注意して取り組むことを共有しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		事業所として活動する予定は現在ありません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	75%	25%	保護者に周知していない	毎月、定期的に勉強会、訓練等を行っております。今後の課題として、保護者様への情報提供をしてみたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		毎月、定期的に勉強会、訓練等を行っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者を通じて連絡を取っている	定期的に面談や連絡帳のやり取り、個別での電話のやり取り等で、お子様の課題やご家族の御希望をお聞きしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		定期的に、事例検討会を実施して、対応共有を行っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止・権利擁護の事業所内研修を行っております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	25%	75%		現在は、対象のお子様はおりません。